

2009年 弾き語りやカフェライブが増える

初めてのピアノ弾き語りアルバム「tobiuo piano」をリリース。他のアルバムに比べて、ピアノアレンジがきめ細かい楽曲たちは、その後よくライブのラインナップに上がる。この頃からカフェを中心に、いわゆる既存のライブスペースではない場所での、弾き語りライブが増えたように思う。以前から親交のあった GOING UNDER GROUND のドラマー・ジョーくんこと河野丈洋くんが、自作曲を自ら歌うミニアルバムを発表したのをきっかけに、ふたり旅の全国弾き語りツアーに出かける。CMソングも引き続きいろんな形で携わるなか、柔らかいタッチのCMでやさしく語りかけるようなナレーションのオファーも増えた。自ら監修した邦楽コンピレーションアルバム「Sweet Voices」の男性版を、翌年には女性版もリリースする。プライベートでは、長く落ち着ける住居を見つけ、長年の夢だった防音施工のスタジオを手に入れる。



2010年 クロスオーバーの傾向

かねてからよく聴いていた、AOR やジャズをポップスに織り交ぜる、いわゆるクロスオーバーサウンドのアルバム「Lamp & Stool」の制作に取り掛かる。結果的にそれが実現したのかどうかは聴く人次第だとは思いますが、どの曲もやや高度なコード進行や構成になり、出来立てのホームスタジオにミュージシャンたちを呼んで、その腕に頼ることがとにかく楽しかった。ギターの本多大介くんにも本格的に関わってもらったのもこの頃で、サクソ奏者も加わった少し大人のライブには、自分が一番満足していたかもしれない。陶芸家・吉田次朗くんととの展覧会「音とたち」を全国4カ所で開催。ピアノのインストをメインにしたアルバム「PIANO PIECES & SINGS」をリリース。この年の夏から、河野丈洋くんの繋がりで、GOING UNDER GROUND のサポートキーボーディストを務めることになる。ここから3年半、彼らとのライブの日々が続いていく。

